校友時報

第62号
発行所
秋田県立能代高等学校新聞部
電話254番
編集人 小野孝則
印刷所 大藤堂印刷所

文房具なら…
当店へ
キムラヤ
畠町 電 2136

図書委員会として發足

〝部〟は圖書館の運営を妨ぐ

圖書部解消さる

生徒總会で難なく承認

年々充実して来た図書部はこの頃長年の懸案であった小部屋の解消を生徒委員会に提出、即座にこの要望受け入れられ委員会を無なく通過、生徒総会に図されて、ここに於いても絶対多数をもつて可決され、学校図書委員会と共に新たに発足した。

今回成立した機構を抜粋すると、生徒図書委員会、学校図書部委員会の三委員会があり、委員は各ホームより選出されて、図書部の運営活動がスムースに行かなく、又図書部は学校全体の機関であるから学校全体の参加が望まれるという理由もあり、図書の選択等を行う総務分科会に各ホーム一名と、希望による委員よりなる図書部委員会を開催し、委員長に白岡史郎(二A)、副委員長に石岡忠雄(二A)、書記に島良明(二D)の三君を決定した。

しかし、部の解消は見たものの依然として委員会の活発には遠々たるものがあり、生徒よりの不満の声も聞かれる。

放送設備の完全活用

論説

本校には有形文化財的存在たる高級設備がある。それは案外無関心に放置せられている放送設備をさす。二十七年万難を排して実現を見た放送設備が以後如何程の活用を見せているか。思うに多く活用度、活用範囲が狭すぎ、単なる備品すぎないようだ。

例えば昼休み時間に学校側の緊急の通達がある一クラブの集会の予告の二つに利用が制限せられている。これは教員室の片隅に設置されている為生徒にとつて入りにくく、しかも機械操作の知識が皆無の者ばかりで、学校側の操作の不慣れ、等の諸悪条件により自然に生徒から敬遠されてしまつたからである。

特に運動部の如く定まつた集合場所を持たぬ文化部等に於いては唯一の連絡機関となる。しかし放送設備の意義というものを考えたとき我々は単なる連絡機関であつてはならぬ。

否、学校放送設備の場合連絡等は少しくもの足りなく感ずるものは第二義的なものと思うが、本校の放送設備ではまだ連絡等手軽に出来ない現状にあることは誠に遺憾に堪えない。

放送設備の意義を真に考えてみた時、次の様な事柄が頭に浮かぶ。朝ネボケ眼で教室に教室に入つたとたんに、ラジオから流れ込んだ音楽が我々を快活な気分にさせたら、それは一日の勉学に余裕を持たせ多かれ少なかれ効果を見せる。又興味深き学校内外の社会ニュースの報道、時事解説、教養本位の放送等が休み時間にでも随意にスイッチ一つで聴けるとしたら又一段と学校生活に潤いが持てる。

人間とつて直に他人からシャベラレタ事が最も効力なくして永く記憶に残せる、という有意味の事を説く生物学の書で読んだ事がある。これが真理か否かは面倒出来ないが、少なくとも人の話というものは相当長い間記憶にあるというのは万人が認める事実だ。だから全く気の晴れる様なメロディがピーカーから流れ込みその旋律が我々の心に、ふとその印象を残すとしたら、それは一日の勉学に余裕を与えるに違いない。

又、学校生活に潤いを与えるものとして、放送設備の活用の一例として、学校内外の社会ニュースの報道、時事解説、教養本位の放送等が休み時間にでも随意にスイッチ一つで聴けるとしたら又一段と学校生活に潤いが持てる。

人間とつて直に他人からシャベラレタ事が最も効力なくして永く記憶に残せる、という有意味の事を説く生物学の書で読んだ事がある。これが真理か否かは面倒出来ないが、少なくとも人の話というものは相当長い間記憶にあるというのは万人が認める事実だ。だからこそ聴覚教育の常識等と叫ばれるのではないか。

自身をいえば、かなりな有名無実な本校放送設備に対し、先ず気軽に利用出来る放送設備となり得るよう教務部の配慮から他の適所に移す事、次には放送グループの結成等を強く要望する。男子高校に放送部というて蔑視されるかも知れないが、それは唯単に娯楽的な能部にすぎぬものである。部でなくても同好者の集いの如きでもかまわない。我々が真に放送設備の意義を認める時期にそれらの則行を望むのある面に於いて多大なプラスとなることを疑わない。（小野）

会則改正審議行わる

全面的に検討をみる

若狭前期委員長の二方拘負である生徒委員の全面的検討と改正問題はいよ〳〵改正案を作成すべく会則改正審議委員会設け審議される運びとなり、去る六月五日第一回審議会を召集、即時開始した。この会則改正審議委員会は塾部側、生徒委員会側、一般側顧問別の四部から成立され委員長の諮問機関となつている。

五日の審議会では先ず各章毎に委員を分担し五時終了。続く六日又続けられている。

今回の改正に当つては大きな改正は見られず、全面的に詳細にわたり検討されている。主な検討点は決議機関と運営部門との明確分離、議長と委員者との分離、ホール会計委員の設置、選挙管理委員の存在、顧案の提出機関である。しかし会員より最も関心が寄せられている二学期に行なわれる予定となつている。尚、章の構成は次の様に改められている。

第一章　総則（総則）
第二章　会員の権利義務（役員）
第三章　組織（集会）
第四章　役員（新設）
第五章　集会（〃）
第六章　会計（〃）
第七章　改正（〃）
第八章　附則（〃）
会則細則　（〃）

（）内は現会則の各章構成

本校生の美談二つ

―いずれも人命を助く―

▼その一
本校教務長村上政義先生は胃病のため三日民生病院に入院したが、胃潰瘍とわかり手術をすることになつたが、寛弱のため輸血が必要とわかり知人も少なく困つていたところ、この窮状を知つた本校生が給血を申し出、七日午後大原先生に引率された九五名が血液検査をうけたが、うち十一名が尊い血の善性を行つた。

なお、先生は五月二十七日全快して無事退院し、三十一日からは元気な姿を学校に見せている。

▼その二
これはまた巷に咲く一本樹生徒の美談。話の主は二年C組藤井栄勝君。能代市新の台で六月四日大雨洪水史ちゃん五つが附近の防火用水路に命をすくうこと遊んでいたところ、あやまつて転げ落ちたがすぐさまこれを知つた能商伊藤龍馬君と藤井君が駆けつけ救後人工呼吸を続け一命を取り止めた。

執行部の方針と希望

前期委員長　若狭　勉

昭和三十一年度生徒会運営にあたり執行部の方針と諸君へ希望を申し上げます。私が就任してから既に二月経過し、その間総会、委員会、運動各部の大会と開かれ新入生生徒会の運営に馴れてきたと思う。委員長の抱負として私が立候補の際に公約した第一の会則改正については、今改正原案作成のため委員長諮問機関として会則改正審議会を設立し原案作成中である。第二の選挙法改正は会則改正後に、そして後期委員長選挙に間に合うようにするつもりである。第三のブラスバンドの生徒会費入は第一回総会で諸君の絶対多数をもつて承認されたことは喜ばしい。第四の応援については今年は絶対に努力を倒しているつもりである。応援部もより効果的な応援をするため対策をたている。応援は会員なげて行うべきもので

鳳鳴高ヒイザコザ起る

去る五月二十七日（日曜）県北大会において、本校バレー部が優勝と決定後、会員あげて喜びたが、その中で少し不愉快な事があつた。それは、大会終了後本校バンド部指揮者が鳳鳴バンド部長に「選手退場の時に喜びとゞ君が出マーチを合奏しよう」と云う事で本校側につけて来たが、こつちの手おちからか、一緒にやる事が出来て本校だけでやつてしまつた。その後会員で輪をえがいてゞ七月調子に合わせて手をたゝきながら騒いでいたところ、突然鳳鳴バンド部長がとりとんで来て「我々に対するあいさつはないのか!!」と云つたため一時はさわめき立つたが、こつちの手落ちとしてあやまつた。しかしこんな事はせつかくの場ではありたくないものだつた。

ブラスバンド　楽器購入

つい最近独立間期でもめたブラスバンドが、此の度部員の増加による楽器不足で練習及び演奏に支障をきたす現状なので、楽器を五名一個を日本管楽器製造株式会社に発注、クラリネットをのぞくトランペット、コルネット、中バリトンボーンは去つて到着、練習にはげんでいる。楽器名、価格その他は次のとおり。

▼クラリネット一個、時価約一万六千円、未到着▼トランペット一個、時価約八千円▼コルネット一個、時価約一万二千円▼中バス一個、時価四万五千円▼トロンボーン一個、時価一万二千円、合計約九万一千円、以上のとおり。

PTA總会開催

予算四萬円の増額

［PTA会長］
柳谷清三郎

三十一年度第一回PTA総会は去る五月十三日午後一時より本校にが開催された。この日の審議事項は、昨年度予算の決算報告、三十一年度予算決定、役員改選等きわめて重要な事柄であつた。決議された予算は、百五十八万三千円で、昨年度より約四万円の増額となつている。その主なものはグランド整地費、保健体育費、（各種競技の四国関西への選手派遣費）等である。尚生徒会費予算は前年度より約四千円の増額を見た十八万五千円と決定された。

（新役員決まる）

PTA会長　柳谷清三郎（新）
副会長　嶋崎貞作（新）
谷内勝美（新）
会計監査員　鈴木徳司
加茂谷忠郎

［柳谷会長挨拶］　計らずも今回、能代高校のPTA会長に就任する事になりました。だが何をなすべきか、今戸惑いの状態であります。能代高校は、輝かしい伝統がある。之は護ればならない。然し、それだけであつてはならない要素ある。唯、漠然と、こんなことを考えています。

市内高校演劇

春季発表会

市内高校演劇研究会春季発表会は、六月一十四日夜六時より北高講堂で開催されるが、本校演劇部からも佐々俊之作の「岩手」が参加する。今回は例年の田舎風の戯曲から現代に脱皮し、近代的センスに満ちたものを築き上げている。参加予定校は四校で、能商は「若い炎」、北高「秋晴」、北定「暗い火花」、それに本校となつている。

尚、四月二十八日北高校に於いて市内高校演劇研究会を結成、直ちに投員を次の通りに決定した。

会長　磯部佐（能商）
副会長　大山誠子（能商）
田中幸子（能北）

三点

▼去る五月二十七日県北県合体育大会が各会場に於て行われた。

大館市ではバレー、バスケット、柔道、小坂で陸上、馬内は庶路能代市では剣道と蹴球かそれぞれ行われ、その結果本校は三種目に優勝している。県北で三種目に優勝したというても全国、全国とまだ一上には上がある。この大会に続いて全県総合大会が行われるが、これには各選手諸君はいつそうの努力を期待する。▼今回の大会で応援団も総出で三種目の会場である大館へタクシーと乗り出した。その数は約二百名、会場では他学校の応援団が圧倒するような張切りぶりである。しかしこの応援に何か面白くない出来事があつたようである。何事も相互の行動を考えてなすべきである。▼いつぽう生徒会は県総合選手の為に拘負であつた全面改正かの審議員委員会を組織して全面的に検討することになつた。その中でも一番欠点は選挙法である。スムースに行かなかつた選挙法も間選挙法によるものである。この機会に我々全校生徒は審議会が全力をつくしてより良い会則がつくり出来ることを希望する。▼五月三十日水は全校一斉テストが行われた。課目は国語、社会理科、数学、英語の五科目であるいずれも難解がしすぎたと全校生徒は大ごぼし。

備する予定で目下体育部で計画中である。

次に諸君に対して一言要望する。運動各部に望みたいことは、諸君は大会出場の際に能代高校という名を生徒一同の要望を背負つて出場するのであるということ、文化各部は更に同上発展を期し、各個性を伸ばすよう努力することを望む。又生徒会員一同に望むことは会費あげて会の運営に対して積極的に協力することと、更に生徒会を活発化させることを望むと共に何事にも強い士気を持つことを希望する。最後に未熟な生徒会熟行部に対して諸君の御指導と御協力をお願い致します。

秋田県銘菓推奨会
撰定品
東雲羊羹
熊谷長榮堂
向能代　TEL415

一日一食パン食を!!!
御贈答に
各種折詰!
エーワンベーカリー
大町　TEL156・1001

新型　スーパーオネスト　万年筆
メガネ　レフラクト　検眼機完備
専門　カモヤ

文房具の店
能高ノート多量入荷
畠町迫分
安部
TEL53

技術と設備を誇る!
現像・焼付・引伸
写真材料一切
佐藤写真舘
大町　TEL132

カメラと材料
現像・焼付・引伸
D.P.E
写真材料店
三羊堂
能代市畠町中央